

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	プログラミングⅡA(2076)	
科目基礎情報							
科目番号	0163			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	入門C言語, 兎捷彦・石田晴久 他 著, 実教出版/教員作成資料						
担当教員	細川 靖						
到達目標							
1.フローチャートを用いて与えられた問題を筋道立てて解決できること。 2.C言語の文法を正しく理解し、問題をC言語により解決できること。 3.演習によりプログラムの正当性を確認できること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
フローチャートを用いて与えられた問題を筋道立てて解決できること。		フローチャートを用いて与えられた問題を筋道立てて解決できる。		一部、フローチャートを用いて与えられた問題を筋道立てて解決できる。		フローチャートを用いて与えられた問題を筋道立てて解決できない。	
C言語の文法を正しく理解し、問題をC言語により解決できること。		C言語の文法を正しく理解し、問題をC言語により解決できる。		一部、C言語の文法を正しく理解し、問題をC言語により解決できる。		C言語の文法を正しく理解し、問題をC言語により解決できない。	
演習によりプログラムの正当性を確認できること。		演習によりプログラムの正当性を確認できる。		一部、演習によりプログラムの正当性を確認できる。		演習によりプログラムの正当性を確認できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 B-1							
教育方法等							
概要	電気情報工学コースではデジタルハードウェアとソフトウェアに関する広範囲な専門知識や技術の修得を目標としている。本科目では主にソフトウェア技術について学習し、C言語による基礎的なプログラミングの知識と技術の習得を目的とする。						
授業の進め方・方法	基本的に教室で教科書やプリントを用いて各テーマについて講義を行い、そのテーマごとに演習・課題を提示し、パソコン室にて演習を行う。また、授業の区切りでは小テストを行い学習の到達度を確認する。						
注意点	予習・復習に心掛け、教科書の例題などを自ら進んでコンピュータに入力して実行してみること。授業では、教科書やプリントを用いた講義に加え、パソコン室での演習課題が提示される。予習復習だけでなく、実際のプログラミングが必要となる。授業時間のみでなく放課後などを用いた積極的な演習が望まれる。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	復習（繰り返しと配列） 演習				
		2週	関数とは 関数呼び出しと関数定義				
		3週	演習				
		4週	グラフィックスの基礎 簡単なアニメーション				
		5週	演習				
		6週	ポインタとポインタ変数 演習				
		7週	ポインタと関数 演習				
		8週	到達度試験 （答案返却とまとめ）				
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	情報	基本的なアルゴリズムを理解し、図式表現できる。 プログラミング言語を用いて基本的なプログラミングができる。		3 3	
評価割合							
		試験		平常点（小テスト、プログラミング演習課題提出等）		合計	
総合評価割合		70		30		100	
基礎的能力		0		0		0	
専門的能力		70		30		100	